



# 川崎・多摩丘陵の里山を守る会

## 熊野森トラスト

2003年秋冬号  
事務局 伊中  
In&Fax 044-866-7005

### 秋の夕べ 木の精のささやき

### コカリナに耳を傾けませんか

一人者、黒坂黒太郎氏を迎え、コンサートを開催致します。

木の優しさ、ぬくもりを表現出来るコカリナは、自然環境を守るシンボルの楽器と言われ、多摩のよこやまの「ターザン」の木を多くの方々に知っていただくために、心染み入る演奏を、お誘い演奏して戴きます。

お願い致します。

下さい。



〔ターザンの木〕

JR南武線「武蔵溝ノ口駅」南側の緑の丘の上にあるスダジイの大木。幹周りがおよそ3m、根元から大きく3本に分かれ、枝がみごとに横へ横へと広がる。子供がターザンごっこをしたくなる形状から、いつの頃からか「ターザンの木」と呼ばれていきました。幼い頃遊んだ記憶を持つ人も多く、今も子供達が訪れ楽しむように遊んでいきます。



### 「ターザンの木を守ろう！」 黒坂黒太郎コカリナコンサート

日時 11月30日(日) 18時30分開場  
19時～20時40分

場所 てくのかわさき てくのホール  
東急田園都市線溝の口駅  
南武線武蔵溝ノ口駅下車徒歩5分  
“マルイファミリー溝の口”裏駐車場横

入場料 (前売)1500円 (当日)1700円

主催 川崎・多摩丘陵の里山を守る会  
後援 川崎市

オープニング：  
洗足学園音楽大学金管楽器専攻学生有志  
コンサート：  
ふるさと・千年の木陰の子守唄・さくら  
一本の樹・イマジン・空(広島で被爆した  
エノキの木の奏でるメロディー)・  
もののけ姫(洗足学園音楽大学弦楽器  
専攻学生有志との合奏) 他

問合せ先：044-866-7005 044-866-5569  
(いずれも TEL/FAX 可)



下見の10月8日、ターザンの木の前で清らかな音色を響かせて～

#### プロフィール

1949年長野県上田市に生まれる。フォークシンガーとして地球環境や生活をテーマに歌い続け、公演曲数は3000曲にのぼる。ハンガリーの楽器コカリナに魅せられ、1996年には作り方を学び精度の高いものを完成させた。

長野オリンピックの時、会場整備等で伐採されてしまった木からコカリナを製作し小学校に贈る。これをきっかけに地元の子供達のコカリナ合奏団が次々と誕生。その活動は課題図書「コカリナの海」のモデルになった。

世界初のコカリナCD「木の精の唄」は、NHKテレビ番組「なごみ歳時記」のテーマ曲として採われ、1997年には2枚目のCD「木魂が歌う子守歌」をリリース。2002年ユタ州ソルトレークシティで長野コカリナ合奏団と親善公演を成功させる。また、広島で被爆した木からコカリナを誕生させた。2001年国際平和シンポジウムで特別演奏、朝日新聞「天声人語」、読売新聞「編集手帳」でも紹介された。

# 秋の散策

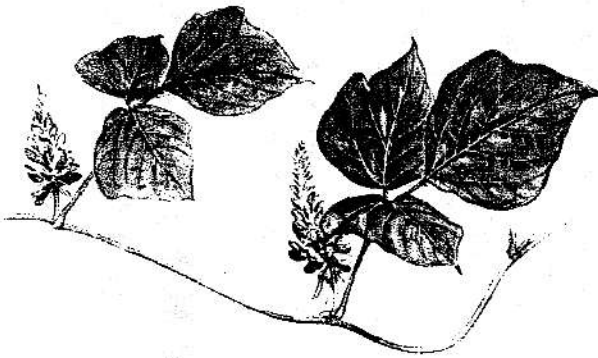
## 熊野森野草観察会

秋の草花が美しい9月20日、あいにくのどんよりとした曇り空でしたが、川崎市植物観察指導員の高橋英先生にお願ひして観察会を開きました。普段、目にしても気に止めていない草花の名前と特色の説明を受けながら歩くと、草花が輝いて見え不思議でした。

まず、末長久保台公園に集合したので、公園内に植えてある植栽の説明を受けました。水飲み場近くの斜めに傾いている木は、コニファーの種類と聞き、花屋さんの店先に、寄せ植え用に並べてあるかわいいコニファーの成長した姿だと知り驚きました。

公園の北西角の濃い緑色の葉が月桂樹と知り、その葉を手を刷るといい香りがしてまたもびっくり。楽しく話を伺っているとこの公園だけで半日が過ぎてしまいそうで、適当に切り上げ移動しました。公園前の市道久本20号線を右に、ターザンの木の方に歩いて行

きました。途中の斜面は、例年通り葛が生い茂っていました。しかし今年はその上をアレチウリというアメリカからの帰化植物が被さつて覆っていました。この植物はおしべとめしべの軸の高さが違い受粉しやすく工夫しているそうです。つまりはびこり易いので来年以降の繁殖が心配されます。葛が茂り木につるを巻き植生を変え困るといふ話を聞きますが、外来種に負けてしまうとは、今後の植生はどうなるのでしょうか。そして市道久本20号線の舗装されていない赤道を歩きながら、



クス (マメ科)

両脇の植物の説明を聞きました。天ぷらにして食べられるコンフリ、花粉アレルギーの原因の一つオオブタクサ、秋の訪れを知る彼岸花、よく見る穂の教がスキほどないメヒシバ、オヒシバ、目立たないけれど小さな紅色の花をつけているキツネノマゴという面白い名の草、茶色の実がきれいなに似合わない名前がついているヘクソカズラ、と数多くの種類の草花があります。

ターザンの木の横、久本20号線の平らな道が終わるまで僅かな距離ですが、高橋先生の植生調査の結果、植物の数は約100種類です。都会化した荒地に生える草もありますが、自然豊かな場所に生える植物もあります。それらの植物はここを歩く人のどかな気持ちにさせるのでしょうか。

その後、末長熊野森緑地へ向かいました。緑地へ続くマンシヨン横の階段を下りるとタケニグサがありました。葉はギザギザで、裏が白くピロイドのようにきれいなので、ヨーロッパでは庭園に植え



ヨウシュヤマゴボウ (ヤマゴボウ科)

るが、日本では雑草だそうで、地域による違いのおもしろさを知りました。小学校の教科書に染色できる草として載っているヨウシュヤマゴボウを見ながら、階段を上りきって緑地に着きました。赤い実がついて存在を知るカラスウリの青々とした葉を見ることができました。何とか小雨のなかをここまで来ましたが、本格的に雨が降ってきたので、解散し、続きは28日の講演で聞くことになりました。その後、残った人は反対側の階段へ続く斜面の木々の説明を高橋先生から受けました。

講演

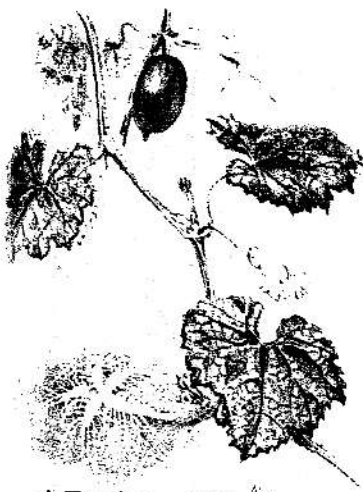
緑地の植生

楽しもう草花の名とともに

9月28日、多摩丘陵の里山を守る会総会の後、高橋英先生に熊野森の植生について講演していただきました。スクリーンに、9月20日の観察会で撮った写真を写しだし、お話を楽しみました。

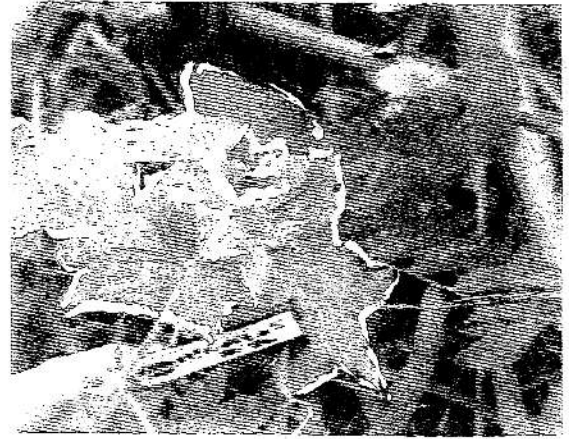
テーブルには、早朝摘んできた野草が飾られていました。花屋で買った花を生けたのと趣が違っても柔らかです。

私たちは普段草が茂ると、里山活動として草刈りをしていますが植物それぞれ生きる知恵を知ると、雑草として片付けていた植物の生命を感じざるを得ません。私たちの生活、緑地の植生を守ることを思慮しつつ、ひとつひとつの



カラスウリ (ウリ科)

生命も大切にしていきたいと思えました。高橋先生の物知りに驚きながらのひとときでした。子どもの頃、ネコジヤラシと言って遊んだ植物は夏に咲くエノコログサ、9月に咲く穂が長いアキノエノコログサ、紫色のムラサキエノコログサ他、数種類ある事を知りました。赤い実を房にしてつけているヒヨドリジョウゴは、その名のおおりの実をヒヨドリが好んで食べる植物です。実には毒性があるのに、ヒヨドリは解毒作用をもっていて食べても平気だそうです。植物と鳥との関係も調べるとおもしろそうです。緑地がある場所に生息する鳥を熊野森では見かけ、その姿、鳴き声に私たちは癒されることを思い、緑地を大切にしたい



生命も大切にしていきたいと思えました。

高橋先生の物知りに驚きながらのひとときでした。子どもの頃、ネコジヤラシと言って遊んだ植物は夏に咲くエノコログサ、9月に咲く穂が長いアキノエノコログサ、紫色のムラサキエノコログサ他、数種類ある事を知りました。

こうと思いました。

普段その横を歩いていても、大きな葉に隠れた花の存在さえ意識しない人もいるクズの花がテーブルに飾られていました。「これはとてもいい匂いですよ」と笑顔で高橋先生は話され、皆でその香りに興じました。身近にある植物がよい香りがすると分かる是一段と親近感が沸いてきます。その繁殖のすごさに悩まされることが多いクズですがつるはリース作り、根からは葛粉となる植物です。アザミのような葉のつっぺんに

たくさん枝をつけ黄白色の花びらたくさんつけているのがアキノノゲシというきれいな名前の草です。ツユクサと同じぐらいよく見かけるのに、今まで名前を知らなかったなので、その名前を忘れないようにしようと思いました。



ヒヨドリジョウゴ (ナス科)

九月に草刈をしたばかりですが高橋先生による熊野森緑地の植生調査の結果、約100種類の草木がありました。カタバミのように小さい草、大きなケヤキと様々ですが、名を知ってこれからの里山活動が一層楽しくなると思います。今回の植生調査でも気になったことは外来種の繁殖です。川崎市内では川崎区が外来種の繁殖率が一番多く、北部ほどその率は低いそうです。都市化するとともに、自生の植物が減少していくのでしようか。植物が知恵を絞って種を守ってきたても外来種に負けてしまうそんな現状を自然のままにしておくのか、手を入れるか様々な意見があるでしょう。今後の緑地を手入れするとき、考えてみたいと思いました。



ヘクソカズラ (アカネ科)

# 川崎・多摩丘陵の里山を守る会

## 第4回総会報告

2003年9月28日(日) 1:30~3:30  
てくのかわさき研修室にて、第4回総会を開催しましたので、皆様にご報告いたします。

2002年度活動報告は議案書どおり可決されました。以下、概略です。

「川崎・多摩丘陵の里山を守る会」は今回の総会で4年目の活動に入ります。残された貴重な緑を大切に、充実した里山ボランティアの活動を継続していくには、これまでを見つめつつ、新メンバーとともに作り上げる未来を視野に入れた方策を考えることが課題となっています。

2002年11月に川崎市の出した斜面緑地の評価に対する審議会の答申には、溝口駅南側斜面緑地、久本山末長の斜面緑地はAランクの、優先的に保全すべき緑地とされています。これに沿った対策がとられるよう緑政課に働きかけました。

「ターザンの木」保全を求める請願署名運動を2003年5月から続けています。高津区都市マスタープラン構想検討委員会に参加し、斜面緑地保全を検討中。

毎月第3土曜日の定期的な草刈と、清掃作業などによるきれいな街づくりを続けました。「くろがねもち」の樹を末長新設道路付近に植樹し、道路わきや公園入り口などに花を植える活動も始めました。

2002年10月には江戸見桜で「お月見の会」、12月には「歴史散歩」を計画し、熊野森周辺の寺社を巡りました。2003年4月には、熊野森緑地で

アイオリン・コンサート、園芸市を同時開催。子どもたちの演奏もバザーも、春うららの陽光の中で楽しい一日でした。

他の団体との交流にもつとめ、「多摩丘陵を歩く会」の共催団体として溝の口駅から、熊野森、橋の散歩道、影向寺、橋郡まで200人の参加者と歩きました。

岡家庭園などの地域の文化遺産を守る活動を続けました。地域の大切な場所の名を残す運動として、2003年6月には「馬坂」「鬼坂」「堂坂」「ターザンの木」の看板を設置しました。

活動の様子などを広く情報として発信するためにホームページの充実を図りました。意見交換の欄も設けていますので、皆様が見てくれることを期待しています。

「川崎市公園緑地協会」から、2003年度は昨年同様に2万5千円の緑化助成金を受けることができました。

「ハイキング同好会」を作ること、ハイキングコースの紹介掲示板設置、周辺地図の配布などの宣伝活動はなかなか進展しませんでした。セブンフォレストヒルの「提供公園」と関連する周辺の緑地・植生の調査もこれからの課題です。

熊野森にトラスト基金で購入できるような土地も見つからない中で、基金を増やすこともはかどりませんでした。基金を元手に借地する方向を検討します。

2002年度は、セブンフォレストヒルの「提供公園」のワークショップで、市民の意見を入れ市民が管理する公園を目指しました。2003年には「熊野森緑地愛護会」を設立し、活動の拠点として、緑地保全の活動を継続していきます。

公園には散水栓も付き、フェンスも低く抑え、用具置き場も作り、道路から公園

に入る散策路の整備などの提案が活かされました。この急峻な斜面の緑地を生かす大きな成果として評価できるものです。

江戸見桜は地権者の同意が得られ、市の「町の木50選」に認定されました。

その後、桜周辺は駐車場となり、今後どうかわるか模索中です。同時推薦したターザンの木は、川崎市環境局緑政課が交渉しても地権者は同意しませんでした。ターザンの木の保全を願って2002年1月、川崎市長に面談しましたが、その後進展もなく、開発のうわさを聞きながら保全のための署名運動を進めています。

2003年度活動方針

・多摩丘陵の残したい緑を評価し、緑地保全のために、斜面緑地を利用した彫刻公園、子どもの遊び場、モニユメントの設置、散策ルートの整備など提案します。  
・トラスト基金を募り、借地できる可能性を探ります。

・きれいな街づくりのため緑を育て、木や花を植え、植樹の可能性を探ります。  
・「多摩丘陵を歩く会」「トラスト歴史散歩」「自然観察会」「樹木・草花・緑地のマップ作り」などを企画し、参加者と里山保全の意義を共有します。

・里山活動具体化の勉強会を続けます。  
・毎月第3日曜日の定期的な草刈、清掃作業などの活動を続けます。

・ターザンの木、岡家の庭園など、地域の文化遺産を守る活動を続けます。  
・行政や他団体と協働、交流をします。  
・県のトラスト協会に働きかけます。

・熊野森緑地、ターザンの木などへの散策のための案内掲示板を設置します。  
・近隣の方と里山活動の交流を図ります。  
・梶が谷駅の近く「池の谷戸」の碑周辺

の湧水や地域の湧水、周辺の井戸など、整備調査への働きかけを進めます。

・ターザンの木の奥、緑地協定地の中に散策路をつけるをお願いをするなどの、可能性を探ります。

・ホームページへの参加を募ります。  
・NPO法人化に向けて検討を重ねます。

### 今後の予定

- 11月30日(日) ターザンの木保全コンサート
- 12月21日(日) 里山活動
- 1月 熊野森トラスト通信発行
- 1月18日(日) 里山活動
- 2月15日(日) 里山学習会
- 3月21日(日) 里山活動
- 4月 「花見の会」トラスト通信発行
- 4月 植物観察会
- 5月 里山活動、月2回予定
- 6月 里山活動、月2回予定
- 7月 里山活動、トラスト通信発行
- 8月 第5回総会準備

募集(8月から翌7月まで)2000円の振込みを年会費としてお願いいたします。

郵便局口座番号 00270-1-53171  
加入者名 多摩丘陵の里山を守る会

---

基金のお願い(積みたてます)  
一口3000円以上、高校生以下1000円です。  
口座番号 00280-2-53172  
加入者名 久本山・熊野森ナショナルトラスト

事務局連絡先 伊中悦子  
TEL&FAX 044-866-7005